

第105回連合会総会

— 令和6年度決算など議決 —

本年6月26日(木)午後1時30分から、第105回全国市町村職員共済組合連合会総会を東京グリーンパレスにて開催しました。

冒頭、横尾理事長からあいさつ(下記参照)があり、続いて会議録署名議員として、

栗 貴章 議員(石川縣市町村職員共済組合理事長)

小上 智行 議員(和歌山縣市町村職員共済組合理事)

の両氏が議長から指名されました。

続いて、議事に入り

議案第1号 令和6年度決算について

(内容)

令和6年度決算(令和7年7月号参照)

議案第2号 不動産の取得について

(内容)

東京グリーンパレスの大規模修繕・リニューアルについて、事業実施に大きな影響を及ぼす環境変化が生じていることから、基本計画の変更を行うもの。

以上の議案が上程され、事務局から説明が行われました。

また、去る6月16日に実施された令和6年度の業務に関する監事監査の結果について、監事を代表して高橋監事から、連合会の事業がいずれも法令の規定に

基づいて適正に行われている旨の報告がなされました。

審議の結果、上記議案はいずれも原案どおり議決されました。

次に、

選挙 各構成組合の理事長である総会の議員のうちから選挙する理事の選挙について

が上程され、三重県市町村職員共済組合の加藤前理事長が、本年5月5日付けで連合会理事を退職したことに伴う後任の理事の補欠選挙が行われました。

選挙の方法については慣例に従い、指名推せんの方法によることが全会一致で了承され、この方法により新理事として

辻村 修一 議員(三重県市町村職員共済組合理事長)が選出されました。

その後、報告に入り、

(1)会務の概要について

(2)長期給付事業における手続のオンラインサービスについて

(3)令和6年度 年金積立金の運用状況について

(4)年金積立金の管理及び運用に係る基本方針の一部変更について

以上の4項目についての報告が行われ、本総会の全日程が終了しました。